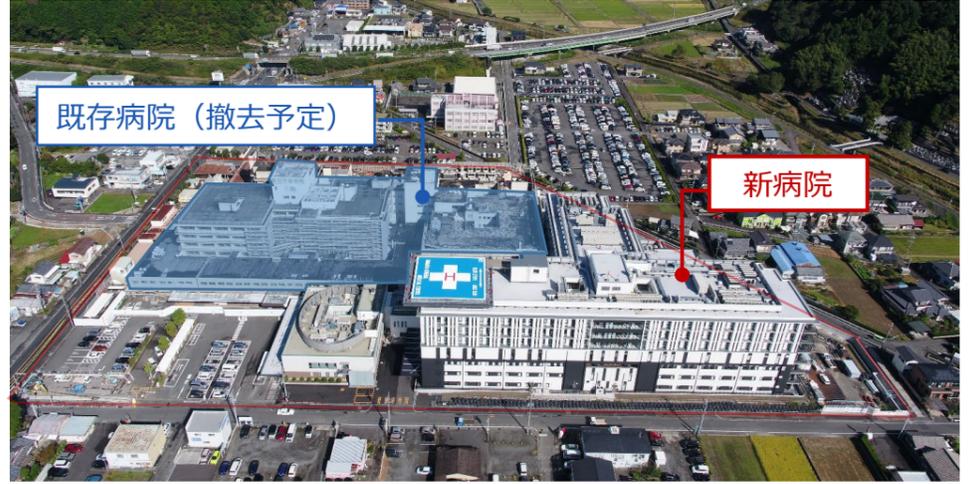


新市立島田市民病院建設コンストラクション・マネジメント業務

プロジェクトの基本情報	プロジェクト名称	新市立島田市民病院建設 コンストラクション・マネジメント業務
	所在地	静岡県島田市
	完了時期	2021年3月（新病院竣工まで）
	新築/改修	新築・改修・その他（既存解体工事）
	建物用途	災害拠点 急性期病院
CM業務委託者に関する情報	CM業務委託者名	島田市病院事業管理者
	官/民区分	官庁工事
	CM業務委託者の所在地	静岡県島田市
応募者に関する情報	応募者（法人）名	日建設計コンストラクション・マネジメント株式会社
	種別	CM専門会社
	応募者（法人）の所在地	東京都文京区
CMRの参画時期	業務契約期間	2016年5月～2021年3月（新病院竣工まで）
		□基本計画段階、■基本設計段階、■実施設計段階 ■工事発注段階、■工事段階、■完成後
CMRの選定方法	プロポーザルによる選定	
発注形式	設計・施工分離発注	
設計者の選定方法	プロポーザルによる選定	
工事の発注区分	ゼネコン一括	
請負契約の形式	総価一式	
施工者の選定方法	一般競争入札（技術提案型総合評価落札方式）	
施設概要	敷地面積	約31,357㎡
	建築面積	約9,870㎡
	延べ床面積	約39,508㎡ 鉄骨造 地上8階
		免震構造（病院棟）、一部RC造



2021年10月撮影（表記無き限り、写真は島田市立総合医療センターHPより）
左奥が旧島田市民病院（撤去予定）、右手前が新病院（島田市立総合医療センター）。
既存病院敷地内での近接施工であり、施工期間中の医療行為の継続が重要となった。



地域医療ニーズを勘案し最新機器を導入



1階エントランス SHIMADAプラザ

【プロジェクトの概要】

島田市及び周辺地域の二次救急や政策的医療を担う急性期病院である、市立島田市民病院の建替プロジェクト。同一敷地内で既存病院施設を運営しながらの建替であり、医療活動に影響を及ぼさないプロジェクト運営が必須であるとともに、地域経済の活性化等も含めた「**地域のための建替計画**」が求められた。そこで、**CMを起用しての病院の建替プロジェクトを推進**するに至り、プロポーザルにてNCMが選定された。

設計者はプロポーザルによって選出された株式会社内藤建築事務所、施工者は技術提案型総合評価落札方式によって選出された株式会社竹中工務店がそれぞれ担当した。

【新しい病院整備方式への挑戦】

新しい病院整備方式の確立

- ・公立病院の特性を活かした、独特のプロジェクト運営
- ・他市に先駆けての病院CMR採用
- ・地域医療の中核を守る、**新発注方式**への挑戦
- ・合併特例債、医療機能継続
- ・設計・施工・病院等のとりまとめ
- ・施工品質重視・地域経済貢献

【プロジェクトを成功に導く4つの目標を実現】

【目標1】品質とコストの両立 求められた品質を予定価格を下回るコストで実現

高品質、地元貢献、安全性の高い施工という複数の条件を満たすため、VE提案付き一般競争入札（技術提案型総合評価落札方式）を踏襲した独自の発注戦略を実行した。結果、予定価格を大幅に下回る金額（191億→161億円）での契約を実現した。

【目標2】スケジュール管理 移転・開院準備期間にも配慮し、狙い通りの開院を実現

合併特例債の適用期限、引越し・移転準備、トレーニング期間等も考慮しつつ、引越し会社の繁忙期（3月期）を避けた引越し日程を設定したマスタースケジュールを構築し、引越し費用面も含めた狙い通りの開院を実現した。

また、入札不調に備え再入札の準備も事前に検討する等のリスク対策を図った他、各届出、検査対応等の病院独自の手続きも確認し、遅延を防止した。

【目標3】地域貢献 地元調達による地域経済への貢献を実現

商工会議所との意見交換や市内業者ヒアリング等による仕組みを構築した結果、市内業者からのクレーム等は皆無となり協力関係を築くことができた。

発注時に地元調達率の提案を求め、地元調達率30%超を達成、地域経済の活性化に寄与した。地元調達金額等の状況確認は、施工者の発注伝票にまで遡り確認した。また、HPで状況を公表し、地元との信頼構築を支援した。

【目標4】医療環境維持 予めのリスク予測により、工事期間内の医療機能維持を実現

施工段階での敷地内外への影響を最小化、給電切替時や引越し時等にもトラブルは無く、医療行為を継続しながらの同一敷地内建替を実現した。また、施工段階のトラブル発生時に、CMR自らが品質管理体制の構築案を提示・実行し、品質確保を図った。

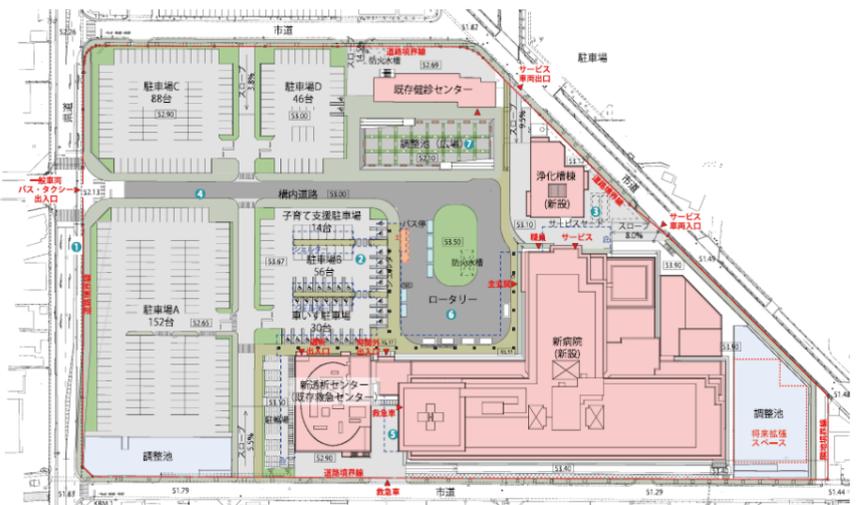
【未来から選ばれる病院へ、病院CMRの有効性を証明】

病院の建替は、「少量多種の集合体」を編集すること 病院CMRの有効性

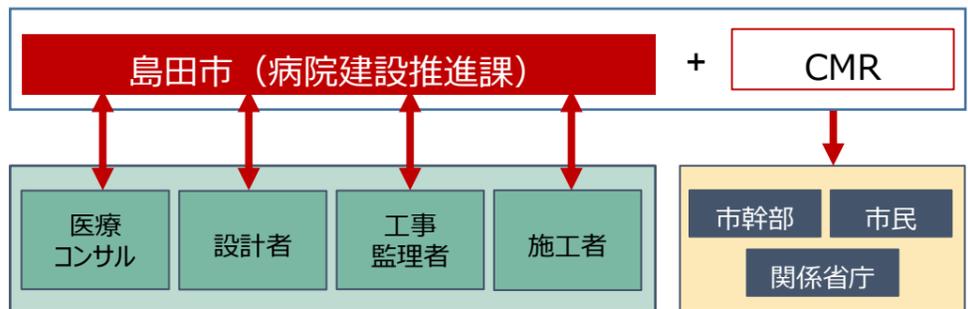
機能の集合体である病院の建替は、設計・施工者だけではできない部分が多く、建築と医療機能の双方に精通した存在が必須となる。CMRが設計者・施工者・病院・医療コンサルタントの間に立ち、幅広く支援することによって、病院CMRの有効性を証明した。

今後の公立病院の在り方 ～専門知識とマネジメント力により、未来の医療を支援する

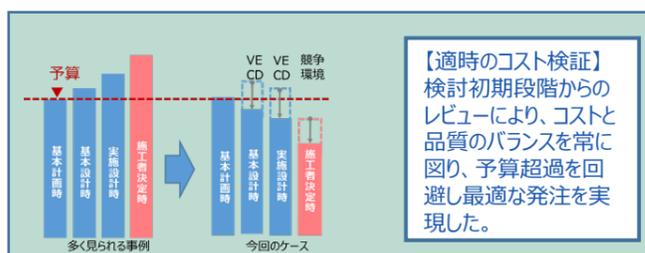
アフターコロナの医療においては、病院の改修や建替が増加し、病院CMRの重要度が増すことが予想される。本プロジェクトで培った知見が今後の病院建替のモデルとなることで、未来の医療を支援する。



グランドオープン時の配置図



体制図 島田市に寄り添う体制を構築

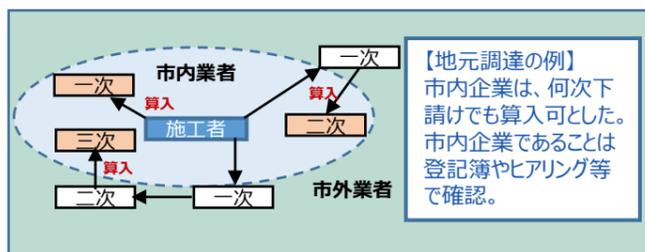


【適時のコスト検証】

検討初期段階からのレビューにより、コストと品質のバランスを常に図り、予算超過を回避し最適な発注を実現した。



夜景。地域医療を支える存在としてのアイコン。

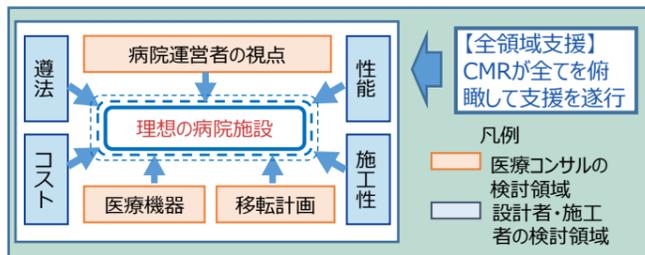


【地元調達の例】

市内企業は、何次下請けでも算入可とした。市内企業であることは登記簿やヒアリング等で確認。



地元企業への調達・契約額等を病院HPで公開。



【全領域支援】

CMRが全てを俯瞰して支援を遂行



市内工業高校の生徒が作成した模型。設計者が指導。